



11月11日(日)朝9時から西日本豪雨で被災した福岡県那珂川市埋金区のお宅で先月からの継続作業を行った。秋のさわやかな気候の中、被災者の方とともに汗を流した。

被災者と同じ時を越えて行く

先月伐採した樹木の整理と法面の雑木伐採を行った。法面の雑木は細いが背丈ほどの高さがあり、鋏で伐採していく。大木にからみつくように伸びていたものがなくなり、見た目にも綺麗に整理された。

法面の下部には川が流れており、大雨の際には増水する。9年前の豪雨時にはかなりの水量が流れ、不安な時を過ごされた。雑草等がはびこる法面は雑然としていて安全面を考慮すると整理が必要である。



▲被災者の方も一緒に汗を流す

九州北部豪雨で亡くなられた方へ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。早期の復旧・復興を祈念します。



先月伐採した樹木はそのままの状態です。庭に置かれていたが、葉や細い枝を落として整理し、幹はチェーンソーで玉切りにしていった。それを被災者の方が運び出していく。落とした葉はレモンやキウイの樹に集めて肥料としていく。



元気とやる気を呼び起こす

これまで長い間、一人で庭の手入れをされてきたが、年齢を重ねて動きが少しずつ弱くなり、しかも、ここ数年で複数回被災され、気持ち的に萎えておられた。我々ボランティアは大きなことはできないが、共に作業を行うことによって被災者の方の元気とやる気を呼び起こすもの



となれば災害支援活動の目的のひとつを達成できる。自宅裏の倒れ掛かった雑木を尻目に「なんとかしたい」思いを強く感じた。